

6
~
8
月



田植えが終わると、草とりをします。村の水田のほぼ50%くらいは、農薬や化学肥料かがくひりょうを使わないで有機肥料ゆうきを使ったり、アイガモによる草とりも行われています。

9
月



いねが実みのるまでの間は、水が多すぎたり少なすぎたりしないように、水のかんりにとても気をつかいます。8月のはじめごろからいねのほが出はじめ、9月の下旬からいねかりが始まります。

~
10
月



かりとったいねは、だっこく、かんそう、もみすりをします。米はJA（農協しゅうか）に集荷され、各方面しゅうかへ出荷します。このように、米づくりをしている人びとは、自然の災害さいがいからいねを守る

どりよく努力や、おいしくてしかも安心して食べられる米をつくるために、いろいろなくふうをしています。